

糸魚川支部

「消費税学習会」開催

上越民商・糸魚川支部では、10月23日に「消費税学習会」を13支部中真つ先に開催しました。会員・役員合わせて6名が参加。昨年の「インボイス学習会」では役員しか参加が無かったのに、大きな前進です▼今回、開催案内は作らず、役員の方が会員に電話掛けをしました。「10月からの消費税増税でレジの買い替えや複数税率・区分記帳・キャッシュレス決済への対応など一般業者泣かせの税制が巷では行われている。今回消費税は大きく変わったわけで、消費税の課税業者だけが対象じゃなく、免税業者も影響があるんだから出てきて聞いた方がいいよ」と。

▼夫婦で飲食店を営んでいる会員は二人一緒に参加。「今回の増税でお品書きを変えるのが大変だった」と話していました。もう一人の飲食店経営の奥さんは、「うちはもう既に春先に値上げしたから値段は変えなかったよ。物の値段は税金の上がり下がりだけで決まるわけじゃないから」とのこと。「飲食料金が消費税据え置きになる中、10月から値上げではお客さんから便乗値上げと思われるのでは」と以前から役員会でも話題になっていました▼事務局からは、「仲間のお弁当屋さんの話だけでも、今までも何年も我慢して商品の値段を上げてこなかったから、この際値札を付け替えるにあたって、ほぼ100円ずつ値上げしようと思っ



ていると民商に相談があり、大手がそんなに値上げしよ

うと思っ

とになった事例を紹介。「競争が激しい業界は本当に大変だなあ」と感想が出ていました▼「こんなことは我々業者が頼んだことではなく、政治家や行政が財界言いなりに動いた結果だし、キャッシュレス化の動きも大手クレジツト会社や決済業者が儲け、そのデータを使って大企業が儲けようという企みからのこと。増税で振り回されてとんだ迷惑を被っているのは我々小規模業者なんだよ。4年後のインボイス実施で消費税の税収が増えると財務省などはそろばんを弾いているだろうが、我々の生活費にまで税金を取っておきながら、天災の被災者の避難所生活が、外国人から見たら粗末で可哀想過ぎるという話もある。日本は経済大国と言われるが、それは大企業と大金持ちだけの話。国民の貧富の差は益々広がっているし、天災で苦しんでいる人たちにこそ税金は真つ先に使われるべきだ。そうしたって誰

も文句は言わないはずだよ。明日は我が身だも



たって誰

の」と役員さんは語ります▼「税金の集め方も使い方もなっていない政府には、国民生活の舵取りは任せられないよね！取り敢えず消費税は5%に戻して、【複数税率】や【インボイス制度】は直ちに廃止して欲しいよね！」と、新署名の受け売りのような事務局の発言にも参加者は「そうだよね」と頷いていました。

「台風15号及び19号

被災者支援募金」の取組

立て続けに日本全土を襲った大型台風や豪雨で大変な被害を被っている方々に対して、民商では会員・読者に被災者支援募金をお願いすることにしました。今回は昨年同様、支部・班・

組へ募金袋を下ろします。「ボランティアに行けないから少ないけど千円」と、事務所に置いてある募金箱に入れてくれた役員。「少ないけど…」と言って自分の生活も決して楽ではないのに財布をはたいて小銭を全部入れて行つてくれた青年。でも、募金箱だけでは中々増えません。もちろん強制ではありません。皆さんの心をお待ちしています。

■共済会「大腸がん検診」

11月29日 夜から



今年も共済会では「大腸がん検診」を実施します。期間11月29日(金)夜、12月2日(月)朝9時まで 場所 民商会館 2階入口回収箱へ

料金 共済会員は無料

会員以外は一人500円

申込締切 11月27日までに民商か、

支部・班の共済係まで

■消費税署名・新用紙へ

10月より消費税が増税されたことにより、民商では新たな請願事項の署名用紙に切り替えて署名活動に取り組むことにしました。追って役員さんの方から署名用紙が届くと思いますので、本人・ご家族はもちろん、知人・友人にも勧めめて多く集めてください。

【請願事項】

- 一、消費税率を5%に引き下げること。
- 一、消費税の「複数税率」と「インボイス制度」は直ちに廃止すること。
- 一、庶民に重い不公平な税制を正して財源を確保すること。

■11月の「PC 記帳会」

11月14日(木) 民商3階
午後1時半、午後7時

■11月の「なんでも相談